

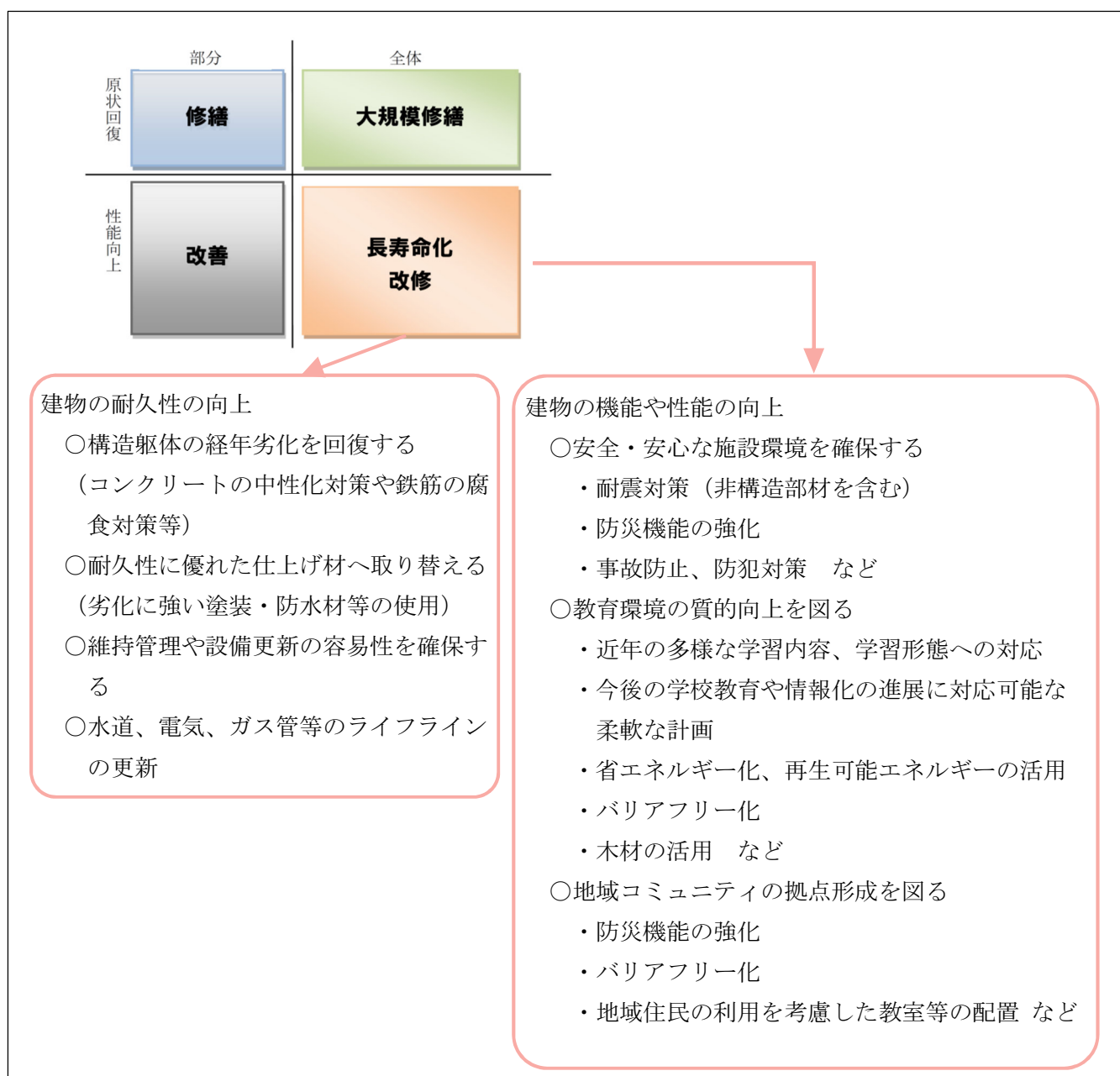
(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

改修等の基本的な方針を踏まえ、本計画の長寿命化計画に必要な整備水準を検討します。

学校施設は、教育水準の維持向上の観点からその安全性や快適性を確保し、児童生徒等の発達段階に応じた安全・安心で質の高い施設整備が求められます。また、社会情勢の変化や地域の実情を踏まえ、教育内容・方法の変化に対応し、多様化する学習活動に適応していく必要があります。

長寿命化改修の実施は、単に建築時の状態に戻すだけでなく、建物の長寿命化や設備機器等の更新等により耐久性を高めるとともに、児童生徒等にとって安全・安心で快適な生活環境や学習環境の改善を目的とします。



② 維持管理の項目・手法等

学校施設をできるだけ長く、安全かつ良好な状態で使用するためには、従来のような不具合が生じた後に補修・修理を行う事後保全型の維持管理から、不具合を未然に防ぎ、劣化や損傷が発生する前の段階に予防的対策を実施することで機能の維持・回復を行う予防保全型の維持管理を行っていく必要があります。

予防保全型の維持管理では、日常的・定期的に各種点検を行い、建物の状況を詳細に把握することで、劣化や損傷の兆候を事前に発見することが可能となります。児童生徒等の安全・安心を確保し、突発的な事故・故障の発生を抑え、維持修繕費用を縮減できることとなります。

維持管理の手法	維持管理の内容	頻度	主な実施者
日常点検	設備機器の異常有無等の確認	日常	施設使用者
自主点検	破損・腐食等の劣化状況等の点検	毎週、毎月、毎年等 一定の周期	施設使用者、施設設置者
法定点検	法的に定められた箇所等の点検		専門業者
臨時点検	上記以外に行う臨時的な点検	随時	施設使用者、施設設置者、専門業者
清掃	建物の延命化のための汚れの除去等	点検に合わせて実施	施設使用者、専門業者
情報管理	履歴作成、状況把握等	改修・修繕後	施設設置者



文部科学省 「学校施設の維持管理について」より

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

P. 21 で試算した長寿命化型の改修計画を次の点を考慮し、10年単位で見直した実施計画を下表に示します。

○本計画における劣化状況調査結果、築年数、過去の改修履歴

○現在、改修等が予算化された建物は、予算額を計上します。

○建設後、又は大規模改造後およそ20年経過後に、大規模改造、又は長寿命化改修を行います。また、これまでに長寿命化改修を行わず、建設後の年数を大幅に経過している建物は、改築とします。

○長寿命化改修及び大規模改造が直近の計画にない建物で、緊急性が高く劣化状況調査でD・C評価があるものは、今後優先的に部位修繕を行います。(円)

施設名	建物名	棟番号	工事年度・工事内容・工事費						
			R3～R12		R13～R22		R23～R32		R33～R42
富浦小学校	普通教室棟	9	長寿命化改修	114,573,780	長寿命化改修	114,573,780	大規模改造	122,670,000	
富浦小学校	体育館	13-1・2	部位修繕	33,000,000	長寿命化改修	290,088,000			大規模改造 106,365,600
富浦小学校	管理・特別教室棟	19	大規模改造	158,850,000			長寿命化改修	381,240,000	
富山小学校	特別教室棟	5			大規模改造	73,440,000			長寿命化改修 176,256,000
富山小学校	体育館	6			大規模改造	56,073,600			長寿命化改修 152,928,000
富山小学校	普通教室棟	8			大規模改造	218,610,000			長寿命化改修 524,664,000
三芳小学校	管理・普通・特別教室棟	1-1・2	大規模改造	186,191,700	改築	465,300,000	改築	465,300,000	大規模改造 232,650,000
三芳小学校	体育館	3	大規模改造	75,790,000			改築	280,440,000	
白浜小学校	管理・普通・特別教室棟	8	長寿命化改修	856,008,000			大規模改造	356,670,000	
白浜小学校	体育館	13-1・2	長寿命化改修	255,884,400			大規模改造	98,762,400	
千倉小学校	体育館	15-1・2			長寿命化改修	234,144,000			大規模改造 85,852,800
千倉小学校	管理・普通・特別教室棟	18,19,20	大規模改造	333,360,000			長寿命化改修	800,064,000	
千倉小学校	管理・普通・特別教室棟	24	大規模改造	82,080,000			長寿命化改修	196,992,000	
嶺南小学校	管理・普通・特別教室棟	1-1・2・3・4			大規模改造	329,580,000			長寿命化改修 790,992,000
嶺南小学校	体育館	2-1・2			大規模改造	146,124,000			長寿命化改修 398,520,000
富浦中学校	管理・普通教室棟	1-1・2・3	長寿命化改修	444,294,720			大規模改造	202,320,000	
富浦中学校	特別教室棟	2	長寿命化改修	92,334,960			大規模改造	44,910,000	
富浦中学校	特別教室棟	4	長寿命化改修	66,528,000			大規模改造	27,720,000	
富浦中学校	体育館	1-4,12	改築	150,300,000	改築	150,300,000	大規模改造	66,132,000	
富浦中学校	部室	15	長寿命化改修	27,540,000	長寿命化改修	27,540,000	大規模改造	22,950,000	
富浦中学校	武道場	16	長寿命化改修	98,906,400	長寿命化改修	98,906,400	大規模改造	76,348,800	
富山中学校	特別教室棟	5			大規模改造	62,460,000			長寿命化改修 149,904,000
富山中学校	体育館・武道場	6-1・2			大規模改造	103,831,200			長寿命化改修 283,176,000
富山中学校	管理・普通教室棟	7			大規模改造	183,330,000			長寿命化改修 439,992,000
三芳中学校	管理・特別教室棟	1-1・2	大規模改造	63,000,000			改築	392,760,000	
三芳中学校	体育館	16			改築	655,560,000			大規模改造 144,223,200
三芳中学校	普通教室棟	19-1・2	大規模改造	77,418,000			長寿命化改修	282,744,000	
三芳中学校	食堂	20	大規模改造	24,000,000			長寿命化改修	92,016,000	
三芳中学校	特別教室棟	24	大規模改造	48,000,000			長寿命化改修	179,064,000	
白浜中学校	管理・普通・特別教室棟	12-1・2	大規模改造	334,890,000			長寿命化改修	803,736,000	
白浜中学校	体育館	13	大規模改造	90,921,600			長寿命化改修	123,984,000	長寿命化改修 123,984,000
千倉中学校	管理・普通・特別教室棟	29	大規模改造	789,800,000	長寿命化改修	728,136,000	長寿命化改修	728,136,000	大規模改造 606,780,000
千倉中学校	体育館	30-1・2・3・4			長寿命化改修	597,672,000			大規模改造 219,146,400
嶺南中学校	管理・普通・特別教室棟	12 1-2	大規模改造	360,450,000			長寿命化改修	865,080,000	
嶺南中学校	体育館	14	大規模改造	91,396,800			長寿命化改修	249,264,000	
嶺南中学校	普通教室棟	17			大規模改造	18,180,000			長寿命化改修 43,632,000
富浦子ども園	園舎	1			大規模改造	180,200,000			長寿命化改修 432,480,000
富山子ども園	園舎	1			大規模改造	123,600,000			長寿命化改修 296,640,000
三芳子ども園	園舎	11			大規模改造	184,900,000			長寿命化改修 443,760,000
白浜幼稚園	園舎	5	長寿命化改修	214,080,000			大規模改造	89,200,000	
白浜幼稚園	遊戯室	6	長寿命化改修	48,480,000			大規模改造	20,200,000	
千倉子ども園	遊戯室	5			長寿命化改修	237,120,000			大規模改造 98,800,000
千倉子ども園	園舎	9,10,11			長寿命化改修	906,960,000			大規模改造 377,900,000
嶺南子ども園	園舎	1,2			大規模改造	204,500,000			長寿命化改修 490,800,000
計				5,118,078,360		6,391,128,980		6,968,703,200	6,619,446,000

② 長寿命化の効果、長寿命化のコストの見通し

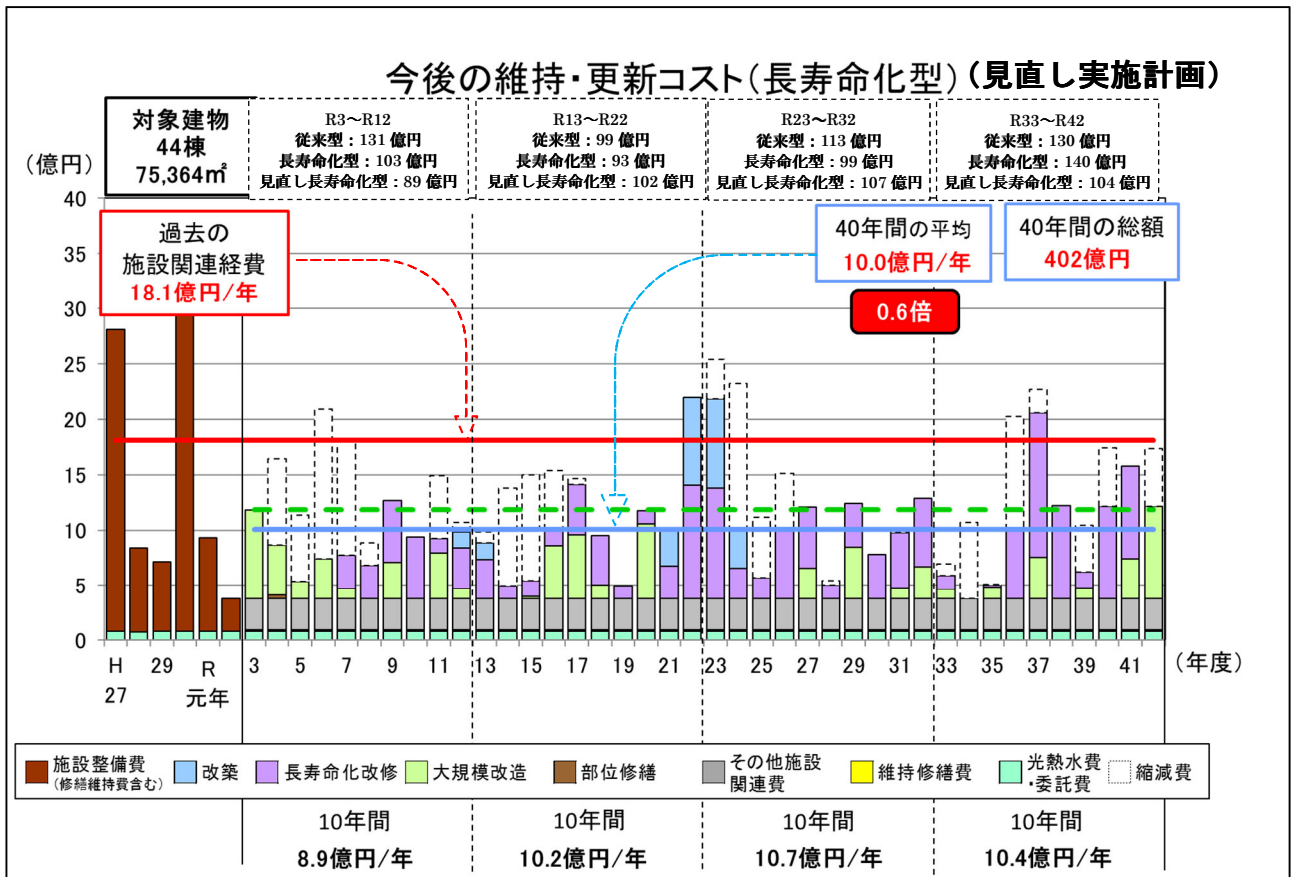
1) 長寿命化の効果

従来の建て替え（改築）を前提とした整備手法から、長寿命化を前提とした整備手法への切り替え、事後保全型から予防保全型への切り替えを行うことにより、施設関連経費の削減や、突発的な費用の抑制、維持管理・更新の費用の平準化が図られます。また、省エネルギーに配慮した施設整備や、再生可能エネルギーを導入することにより、光熱水費の低減にもつながり、全体の維持・管理コストの縮減が期待できます。

2) 長寿命化計画のコストの見通し

今後40年間の学校施設の施設関連経費の長寿命化型の実施計画における効果を以下に示します。今後40年間で必要となる維持・更新コストは、およそ402億円で年平均10.0億円となり、従来型の維持・更新コストから、40年間でおよそ71億円の縮減効果に期待ができることとなります。

今後は、長寿命化改修、予防保全型の改修を導入し、更なる維持・更新コストの縮減に努めます。



3) 維持・更新の課題

今後は、少子化の影響や財政状況を踏まえた上で、中長期的な視点を持って整備方法を見直し、コスト削減に努めていくことが課題です。

(7) 長寿命化計画の継続的運用方針

① 情報基盤の整備と活用

計画の見直し等を効率的に行うため、施設の基礎情報やこれまでの整備内容、法定・自主点検の結果等をデータベース化し、今後の修繕・改修計画に有効に活用していきます。本計画にあたり作成した必要な情報を定期的に更新し、一元管理していきます。

② 推進体制等の整備

本計画を継続的に運用していくため、改修方針や計画スケジュール等、統一的な考え方を持った上で推進する必要があるため、学校関係者、関係部局等との連携により、必要事項を的確に把握し、計画に反映していきます。

また、学校施設の実態把握やコスト算出、蓄積したデータベースの活用には、一定の知見が必要となるため、研修等を通じた職員の知見の習得や意識啓発に加え、専門業者や設計実務者等の協力を得ながら、体制の充実を図る必要があります。

③ フォローアップ

本計画は、施設の老朽化の状況や、少子化等の社会状況を踏まえ、市の財政計画を見据え、年次及び個別の事業費の精査を行い、10年ごとを一定の期間とした見直しを図ります。

また、学校施設の再編が行われた際は、その都度、本計画の見直しを図ります。



南房総市学校施設長寿命化計画

令和3年2月策定

南房総市教育委員会事務局

〒299-2592

千葉県南房総市岩糸2489

TEL 0470-46-2962

FAX 0470-46-4059

E-mail kyoiku-somu@city.minamiboso.lg.jp

URL <http://www.city.minamiboso.chiba.jp>